

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成25年9月5日(2013.9.5)

【公開番号】特開2012-136760(P2012-136760A)

【公開日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2010-291404(P2010-291404)

【国際特許分類】

B 2 2 F 3/035 (2006.01)

B 3 0 B 11/02 (2006.01)

【F I】

B 2 2 F 3/035 D

B 3 0 B 11/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月23日(2013.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

図7の前記焼結部品Aは、上面に半円状の凹み部1を有し、側面に突起7を有する。図3は前記上ダイ3及び前記下ダイ4の拡大図である。前記上ダイ3には上部成形孔8が形成され、前記第1下ダイ4aには下部成形孔9が形成されている。前記上部成形孔8と前記下部成形孔9は前記第1下ダイ4aの上面において段差無くつながれているか、前記上部成形孔8の方が前記下部成形孔9よりも大きい断面を持つように設定される。前記下部成形孔9の側面には前記焼結部品Aの前記突起7を形成するための段差10を有する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

図2は金型側方からの金型断面図である。前記上ダイ3、前記ダイプレート6の上面には、冶金用粉末を供給するフィーダーボックス15が前後摺動可能な状態で接している。前記フィーダーボックス15の前面には、粉末カキ16が設けられている。図1に示すように、前記粉末カキ16には前記溝部11の形状に沿った形状の突起部17が形成されている。前記フィーダーボックス15の前後動作に伴い、前記上部成形孔8及び前記下部成形孔9に供給された冶金用粉末のうち、不要部分の冶金用粉末を前記粉末カキ16の前記突起部17が除去する。